

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(20年4月分)

1. 調査実施期間 平成20年 3月20日 ~4月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

4月分の回答企業数は43社、回収率は93.5%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		20/4月	5月	6月
仕入動向	国産材	△ 17.6	△ 13.2	△ 15.2
	外材	△ 11.5	△ 1.3	△ 9.2
販売動向	国産材	△ 23.5	△ 17.6	△ 10.6
	外材	△ 7.7	△ 3.8	△ 1.3
在庫動向	国産材	△ 15.2	△ 7.6	△ 9.4
	外材	△ 14.9	△ 6.8	△ 8.3

仕入は、国産材、外材とも出入りあるが、やや大きなマイナス幅で横ばい弱気配である。

販売は、国産材、外材とも堅実にマイナス幅縮め、特に外材は明るさリードする。

在庫は、国産材、外材ともマイナス幅やや縮め、ほぼ横ばいである

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	20/4月	5月	6月
スギ正角(グリーン)	△ 4.2	△ 4.2	△ 2.2
スギ正角(KD)	△ 2.0	△ 2.0	0.0
ヒノキ正角	△ 2.0	△ 2.0	△ 4.2
ヒノキ土台角	△ 4.0	△ 2.0	△ 2.1
米ツガ正角(現地挽)	0.0	△ 4.0	0.0
米ツガ防腐土台角	△ 4.0	△ 6.0	2.1
米ツガ割物(現地挽)	0.0	△ 2.0	2.0
米マツ平角	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 1.9	9.6	10.0
ホワイトウッド集成管柱	22.9	8.3	2.2
レッドウッド集成平角	11.4	2.3	0.0
型枠合板(国産)	11.9	11.9	10.0
型枠合板(輸入)	15.2	15.2	6.8
針葉樹合板	11.4	13.6	9.5

スギ正角(グリーン、KD)及びヒノキ正角、土台とも、やや弱気配だが堅調である。

米ツガ正角、割物、防腐土台及び米マツ平角とも明るさ出て安定している。

北洋アカマツタルキは一気の回復と好調さに勢いある。

ホワイトウッド集成管柱、レッドウッド集成平角ともに好調模様が一気の小さなプラス、ゼロとなり、先行きに不透明感が出ている。

合板(針葉樹を含む)は全てプラス幅と好調さ戻って安定している。

1. 荷動き		コメント		
仕入 動向		米マツ一般材丸太では、3月の米材輸出価格もほぼ横ばい。カナダ材はオールド材のFASが大幅アップ。為替メリットは、中国旧正月明けからのフレート再値上げで、問屋には恩恵なく、仕入れコストに大きな変化はない。(東京:問屋) 為替は円高だが産地の為替も強い為産地側からの提示価格は上昇。(東京:問屋) 円高にもかかわらず出材減をテコに価格上昇を唱えられ、成約が難しくなっている。(東京:問屋) 南洋材は現地の天候悪く、入荷は少ない。中国材は4月の入荷は順調。(東京:問屋) 円高分仕入原価下がるが高価格在庫も保有、売値を決めにくい。(東京:問屋) 荷あまり感拭えず、凡庸な動き。(東京:問屋) 特殊材のみとても荷動き良い。(東京:問屋) 構造材は増改築だけの細かい動き。羽柄材は細かいながら動きあり。(東京:問屋) 産地から買ってこれと電話がしょっちゅう掛かってくる。(東京:問屋) 新材挽立分入荷はやや増えそう。(東京:問屋) 荷動き全く悪い。建築確認問題よりも景気後退の影響であろう。当分需要が増加するとは考えられない。(東京:仲買小売) 4月に期待したが仕事の話が出てこない。不発に終わりそう。(東京:仲買小売) アメリカの不況が日本経済に悪影響を及ぼしている。この状態は長く尾を引くのではと覚悟せざるを得ない。(東京:仲買) 依然として荷動き悪い。(東海:問屋) 相変わらず動き悪く、このまま連休に突入してしまう。打つ手はあるのか、このまま赤字へ転落か。(東海:問屋) 各製材生産調整により入荷増は見られない。(東海:問屋)		
	販 売 動 向		京浜への米マツ丸太入荷が不安定な為、メーカー側も入った時には買って置くという姿勢が強くなっており、入荷時の販売は好調。(東京:問屋) 見積件数は増えているが依然として価格は厳しい。加工を伴う事が多いが即納が多く余裕が無い。(東京:問屋) スプランスは漸く陽の目を見るようになってきた。よく売れている。(東京:問屋) 先月に比べ若干だが荷動きは回復している。(東京:問屋) 来月は少し増加するのを期待。(東京:問屋) 3月は思った以上に荷動きが悪かったが4月も年度変わりでもあり、それ程期待出来そうもない。5月以降は増えると 思う。(東京:問屋) 増改築用の材が少し動き出しそう。(東京:問屋) 値下げしても売れないので静観といったところ。(東京:問屋) 価格の動きが悪いが底値安定で下げはない。下げられない。(東京:問屋) 最悪期は脱した。しかし、いつもほどの盛り上がりはない。(東京:問屋) 荷動きは1月より毎月徐々に上昇している傾向。(東京:仲買小売) 3月よりも4月の方が悪い。全く売れて行かない。(東京:仲買小売) 現状では販売計画持てず、現在の小さな商圏を維持するのみ。(東京:仲買小売) 相変わらず売りは弱い、多少見積りが増え、小動きが見られる。(東海:問屋)	
		在 庫 動 向		米マツ丸太の在庫は減少。尺上の問屋手持ち在庫は殆んど無く、若干尺下の在庫がある程度。(東京:問屋) 在庫全体量は減っているが、廃棄処分品に圧され不良在庫化している物もある。製品よりバラツキが大きい。(東京:問屋) 好調な商況を反映して在庫は大幅減少している。入荷も順調でなく今後も一層減少の見込みである。(東京:問屋) 先月は入荷が少なかったため、在庫はさほど多くない。(東京:問屋) ツガ・マツともグリーン材の仕入れは控え目。KD材は多少増すと思われる。(東京:問屋) カビ等の心配の季節がら在庫注意。動き見ながら減少させる。(東京:問屋) 2月頃に仕入れたものがまだ残っている。(東京:仲買小売)
			2. 価格動向	
			スギ正角	構造材の動きは悪く、安い物もある。(東京:問屋)
			ヒノキ正角 ヒノキ土台角	外材依存が多いため、樹種変更が無い限り値上げは無理。(東海:問屋)
	米ツガ	ツガグリーン材は荷動き不振のため現地も円高分上乗せせず価格は下げ気味。(東京:問屋) 土台角の入荷順調。価格は昨年末の価格維持。(東海:問屋)		
	米マツ平角	グリーン材は益々市場性がなくなっている。(東京:問屋) 値上げ希望あるが、販売量確保のため横ばい予想。(東海:問屋)		
	北洋アカマツ タルキ	対日向けのシッパーが国内向けにシフトするため入荷は減る。(東京:問屋) 国内挽きのみ扱ってきたが、現地挽きに変更を検討しなければならないか。(東京:仲買小売) 需給バランスが伴っていない。(東海:問屋)		
	WW・RW 集成材	集成材メーカーの減産と廃業で価格は強含み。(東京:問屋) 流通在庫は減少しているというものの価格には変化なし。(東京:問屋) RW平角2,000円上げ、メーカーはもう少し上げたいが需要が増えないと難しい。(東京:問屋) 2~3月少々値戻したが、需要回復弱く希望価格まで届かず、横ばい。大手メーカーは減産体制により価格 引き締め狙う。(東海:問屋) 上げきらずに行きそうだ。(東海:問屋)		
合板	荷動きは良くないが価格はやや安定と思う。(東京:仲買小売) 以前と比べて合板価格が安定しているのは珍しい傾向。(東京:仲買小売) 最終的に消費が価格を決定すると思うのだが。(東京:仲買小売) 商社は値上げを要求しているが、需要低迷で値上がらず。(東京:仲買小売) 型枠は輸入品の入荷減に伴う値上げで国産品も値上げの動き。針葉樹合板は在庫調整・減産も進み、少し ずつ値上がりするのでは。7-8%UP。(東海:問屋)			